



第 28 回例会報告 (3月2日)

【出席報告】

・会員数 53名
 ・当日出席率 72.91%
 ・出席数 36名
 ・前々回修正出席率 95.92%
 ・欠席数 17名

<欠席会員> 檜垣(俊)、平田、冠、木村、吉良、小堀、桑森、眞鍋、松本、中村、西本、坂本、竹田

〔免除会員〕 青野(明)、檜垣(巧)、光藤、白石

<2/16欠席補填>(2/12 DTTS)阿部 (2/13 今治北)冠、松木(久)、森岡、佐伯、重松 (2/20 今治北)原、中村、坂本

◇幹事報告・3月のロータリーレートは1ドル116円です。

・花見夜間例会のご案内：4月6日(木)18：30よりマリエール今治にて開催します。

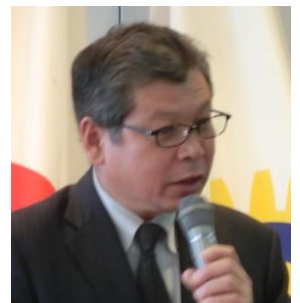
2016-2017 年度インターシティ・ミーティング報告

◆八木正史会員：(基調講演 高山良二先生)1947年愛媛県北宇和郡三間町出身。陸上自衛隊に36年間所属し、施設科部隊(地雷等に携わる部隊)に勤務。1992年「カンボジア PKO」参加、以降カンボジアに特別な思いを抱く。2002年定年退官と同時に「日本地雷処理を支援する会 JMAS」参加。現地での不発弾処理活動の立ち上げを行う。2004年帰国。愛媛で JMAS の広報活動を行いながら地雷処理事業の立ち上げを準備。2006年「住民参加型地雷処理活動」を同国バタンバン州で実施。2010年 JMAS を退任。2011年 NPO 法人「国際地雷処理・地域復興支援の会 IMCCD」設立。▼JMAS: 目的の達成は現地にあり、復興に関しては現地に託すべきと「住民参加型地雷処理活動」を実施。2007年に7名をなくす事故。先月10年目の慰霊祭。▼IMCCD: 日本の価値観だけで基準を判断すると本質とのずれが生じる。現地との温度差をなくすため理事長と現地法人の代表を兼務し大半はカンボジア。今取り組んでいる事業でギャバ芋を作って収穫した後、サトウキビを作成し、それでラム酒(アグリコールラム)を生産し販売。700~100mlで人気となっている。

◆原竜也会員：(シンポジウム)各クラブが「奉仕の理想・継続は力」で取り組んでいる活動の発表。今治 RC が発表したのは 1. あすなる学園への寄付 2. 早朝清掃奉仕 3. 小さな奉仕賞である。小さな奉仕賞は 25 年前に始まった事業で、発表するにあたりどういう意図で始まったのか、資料が出てきたのでそれを読ませていただいた。「ロータリーの基本である奉仕(職業・社会・国際)の各分野にわたり、スポンサーの援助もなく、自力で縁の下の力持ち的な奉仕活動をしている団体または個人に対し、その活動を顕彰することである。今後、この人達のような活動が世の中に広くいきわたることが、我々ロータリーの提唱する「超我の奉仕」活動の導火線となっただけであれば幸いにして意義あるものである。」という内容である。

◆重松宗孝会員：(懇親会)前田ガバナーから地区大会参加のお礼、マンネリを解消することがガバナーの仕事であるとお言葉。乾杯は 2018-2019 年に新居浜からガバナーが輩出されるので、ガバナーノミニー桑原征一氏が音頭をとられた。懇親会は女性だけのよさこい踊りが披露された。最後は全員で手をつないで終わった。

◆青野淳一会員：(全体) IM の内容は各担当の方が話されたので特に話すことはないが、IM は若い、入会年数の浅いメンバーにどんどん参加してほしい。なるべく早いうちにみんなでお睦を深めながら参加していつてもらいたい。余談だが帰りの道中、西条の車道で故障車があり道路が渋滞していた。重松会員はじめ乗り合わせていたメンバーで故障車を押すお手伝いをした。大変感謝されたが、ロータリアンと名乗らず立ち去るところに奉仕の精神が見えた。



次回例会 (3月9日)

【地区協議会報告】

<会員誕生日祝> 中村 浩二氏 (3/19) 小堀陽一郎氏 (3/21)
 <配偶者誕生日祝> 村上 修三氏 (3/17)
 <結婚記念日祝> 吉良 敏彦氏 (3/15) 吉田 透氏 (3/16) 佐伯 和信氏 (3/18)
 大澤 正尚氏 (3/20) 冠 康秀氏 (3/21)
 <入会記念日祝> 近藤 正人氏 (3/9) 岡田 昌平氏 (3/22)

〔健寿司〕